

「宇都宮市第2期SDGs未来都市計画」(素案)に関する
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和4年2月14日(月)～3月7日(月)

(2) 意見の応募者数 3名
意見数 5件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	1	0	1	1	3

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	0件
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	2件
C	計画の参考とするもの	1件
D	計画に盛り込まないもの	0件
E	その他、要望・意見等	2件
計		5件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	B	SDGsの認知度が上がってきているが、多くの人が内容までしっかり理解していないと思うので、認知度を上げる取組と内容を理解する取組に力を入れて欲しい。	SDGsの認知度向上や内容理解促進については、市とともに、SDGs達成に貢献する取組を積極的に実施している市域の企業等の会員で構成された「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」や、市民団体や企業等で構成された「宇都宮市もったいない運動市民会議」が連携し、周知活動や、出前講座などに取り組んでおります。 今後は、更に内容を理解する取組を充実するため、これまでの取組に加え、「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」会員との連携による、カードゲームやすごろくのような学習教材の制作や、会員が実施している取組事例の紹介など、内容の理解が深まる工夫を加えた取組を実施してまいります。

2	E	<p>「スーパースマートシティ」とSDGsの関係がわかりにくいので、わかりやすく市民に情報を発信して欲しい。</p>	<p>「スーパースマートシティ」は、地域で生活するさまざまな人たちの問題を、地域の住民や団体などが「我が事」として考え支え合うとともに、医療・介護・福祉などの多様な機関を分野を超えてつなげていく「地域共生社会」、次世代産業の集積・育成や起業などを支援するとともに、大谷やプロスポーツなどの地域資源を最大限に活用し、市内で人・モノ・情報が交流する「地域経済循環社会」、地域新電力や太陽光発電、冷熱エネルギーなどの本市が持つ資源を効果的に活用する取組や、市民一人ひとりの環境に配慮した行動の充実による「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」のことを言います。この「スーパースマートシティ」を実現することは、SDGsの17のゴールの達成にも貢献することから、本市は「スーパースマートシティ」を目指すまちの姿としています。</p> <p>これからまちづくりを推進する上で、市民の皆さまのご理解を深めることが大変重要でありますので、わかりやすく工夫した情報発信に努めてまいります。</p>
3	E	<p>LRTを活用して、環境に優しいまちづくりをしていこうとしているのが分かったが、環境以外でもSDGsに貢献ができると思うので、まちの資源として活用を検討して欲しい。</p>	<p>LRTを含む公共交通の利用を促進することで、二酸化炭素排出量の削減といった「環境」分野の効果だけでなく、外出機会の増加による歩数増による健康増進といった「社会」分野の効果や、地域内消費の拡大などの「経済」分野の効果をもたらすと考えておりますので、今後もまちづくり全般の活用を検討してまいります。</p>
4	C	<p>宇都宮市に地域新電力会社というものがあるのを知った。もっと多くの市民に知ってもらえるようにした方がいい。</p>	<p>地域新電力会社については、市ホームページや広報紙などによる周知をはじめ、「宇都宮ライトパワー」の独自ホームページを活用した情報発信に取り組んでおります。</p> <p>今後も様々な機会を捉えたわかりやすい情報発信に努めてまいります。</p>

5	B	<p>市, 市民, 企業がバラバラにSDGsに取り組んでいるように感じている。もっと連携してSDGsに取り組んでいくようにしてほしい。</p>	<p>SDGs達成に貢献する取組を積極的に実施している市域の企業等の会員で構成された「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」や, 市民団体, 企業等で構成された「もったいない運動市民会議」, 栃木県や芳賀町といった自治体や, 国際スポーツ大会を通した国内外の主管団体等と連携し, SDGs達成に貢献することを計画に盛り込んでおります。</p> <p>今後も, 市民や団体, 事業者の皆さまと一丸となってSDGs達成の貢献に資する取組を実施してまいります。</p>
---	---	---	---